

## 緊急賃貸およびユーティリティ支援

イリノイ州ヒューマンサービス部門の住宅支援プログラムは、COVID-19パンデミックの影響を受けた適格なイリノイ州の世帯を対象とした賃貸およびユーティリティ支援プログラムです。IDHSは、コミュニティベースの組織と提携してプログラムを管理しています。

申請はパートナー組織によって積極的に受け入れられています。関心のある申請者は、次のリンクから提供される情報を使用して組織に連絡する必要があります：

<https://www.illinoisrentalassistance.org/providers>

プログラムについての詳細は、[www.illinoisrentalassistance.org](https://www.illinoisrentalassistance.org)にアクセスしてください。

## IDHSの無料の精神的サポートテキストライン、CALL 4 CALM

IDHSは、COVID-19パンデミックが精神的健康にもたらした悪影響を認識し理解しています。したがって、IDHSの精神健康部門（DMH）は、COVID-19に関連するストレスと精神的健康の問題を経験しているイリノイ州の住民のために、無料の精神的サポートテキストラインであるCall4Calmを作成しました。

精神健康の専門家と話したい人は、「TALK」を5-5-2-0-2-0にテキストに送信してください。スペイン語の場合は、「HABLAR」を同じ番号5-5-2-0-2-0にテキストで送信してください。Call4Calmは無料で使用でき、個人は匿名のままです。

居住者がホットラインにテキストを送信すると、24時間以内に、地元の地域精神健康センターに雇用されているカウンセラーからサポートを提供するための電話がかかってきます。個人は、「失業」、「食料」、「避難所」などのキーワードを5-5-2-0-2-0にテキストを送信することもでき、サポートやサービスを得る方法に関する情報を受け取ることができます。

IDHSは、10月に全国の若者の薬物使用防止月をお祝いします。

IDHSは、薬物使用の予防と回復の部門を通じて、薬物使用障害に取り組み、闘うための州の取り組みを主導しています。

薬物使用と運転という危険な組み合わせが衝突や死亡につながるため、IDHSは10月17～23日を全国ティーンドライバー安全週間としても認識しています。米国運輸省（USDOT）は、15～18歳の個人の主な死因として自動車事故を公言しており、10代の薬物使用が事故に影響を与えています。

IDHSのコミュニティパートナーであるPrevention FirstとPrevention FirstのYouth Prevention Resource Center(青少年の予防リソースセンター)は、1時間のウェビナーを主催しています。10月19日火曜日の午前10時（中部標準時）にアルコールとティーンの交通安全。[ここからイベントに登録します。](#)

さらに、IDHSは、10月23日の午前10時から午後2時まで、DEAとパートナーの全国処方箋回収日をお祝いします。この日は、処方薬の乱用の可能性についての認識を高めると同時に、処方薬を安全で便利かつ責任を持って処分する方法を提供するために作成されました。

個人は、イリノイ州全体の指定されたドロップオフ場所で、未使用または期限切れの処方薬と非処方薬を処分できます。ご自身またはご自身の機関がこのイベントに参加することを計画している場合は、地元の法執行機関と提携することを検討してください。

[www.takebackday.dea.gov](https://www.takebackday.dea.gov) にアクセスして回収場所を探すか、これらの回収場所の詳細については、DEA Diversion Control Division Registration Call Center (DEA流用管理課登録コールセンター) (1-800-882-9539) までお電話ください。

IDHSは、オピオイドのエピデミックと闘い、オピオイド関連の死亡を防ぐための取り組みを拡大します。

2020年には、イリノイ州で2,944人がオピオイド過剰摂取によって死亡しました。これは、イリノイ州で記録されている年間死亡者数の最大数です。

IDHSの薬物使用予防および回復部門 (SUPR) は、オピオイドの流行やその他の物質使用障害と闘うための州の取り組みを主導しています。

したがって、IDHSは、救命薬であるナロキソンへのアクセスを拡大することにより、オピオイド危機と戦うことを目的として、約1,300万ドルを投資しています。ナロキソンは、ヘロインやフェンタニルなどのオピオイドからの過剰摂取の治療に使用されるオピオイド拮抗薬です。薬は完全に安全であり、点鼻薬または筋肉内注射として投与することができます。鼻腔内ナロキソン製品であるナルカンは、(医療専門家ではない)誰でも投与でき、友人や薬を使用している人の家族や友人はナルカンを手元に置いておくことをお勧めします。

このプログラムを通じてナルカンを注文したい組織は、[www.dhs.state.il.us/AccessNarcan](http://www.dhs.state.il.us/AccessNarcan) にアクセスしてプロセスを開始できます。

イリノイ州でのオピオイドの流行の状況の詳細については、イリノイ州公衆衛生局の半年ごとのオピオイドレポートを次からご覧ください。  
<http://www.dph.illinois.gov/sites/default/files/publications/idph-semiannual-opioid-report-august-2021.pdf>

ご自身または知りあいの誰かが薬物使用と悪戦苦闘している場合は、オピオイドおよびその他の物質に関する州のヘルプライン (1-833-234-6343) に電話するか、テキストで833234まで「

HELP」と送信するか、[HelplineIL.org](https://HelplineIL.org) にアクセスしてください。

## GATAトレーニング

イリノイ州の助成金の説明責任と透明性に関する法律 (GATA) は、連邦政府の報告と監査の基準に準拠した州の助成金に一貫したプロセスを提供するために作成されました。

イリノイ州のコミュニティにサービスを提供する組織をより適切にサポートするために、IDHS GATA技術支援学習管理システム (LMS) が開発され、助成金申請プロセスに関するガイダンスが提供されました。

このシステムは、5つのモジュールを含む自習型オンライン学習としてご利用いただけます。すべてのモジュールを完了するための推定時間は約24時間ですが、システムは自習型のオンライン学習に利用でき、個別のモジュールに分割されています。

[GATAトレーニングコースに直接アクセスするには、ここをクリックしてください。](#) [学習管理システムのサインインページ。](#)

主題の内容に関する質問および支援は、Eメールを介して次の宛先に送信できます。  
DHS. GATATraining@illinois.gov.

GATAについてご質問がある場合は、IDHSが1時間のセッションを主催し、英語とスペイン語でGATAの概要を説明します。  
[英語はこちらをクリックしてください。](#)  
[スペイン語はこちらをクリックしてください。](#)